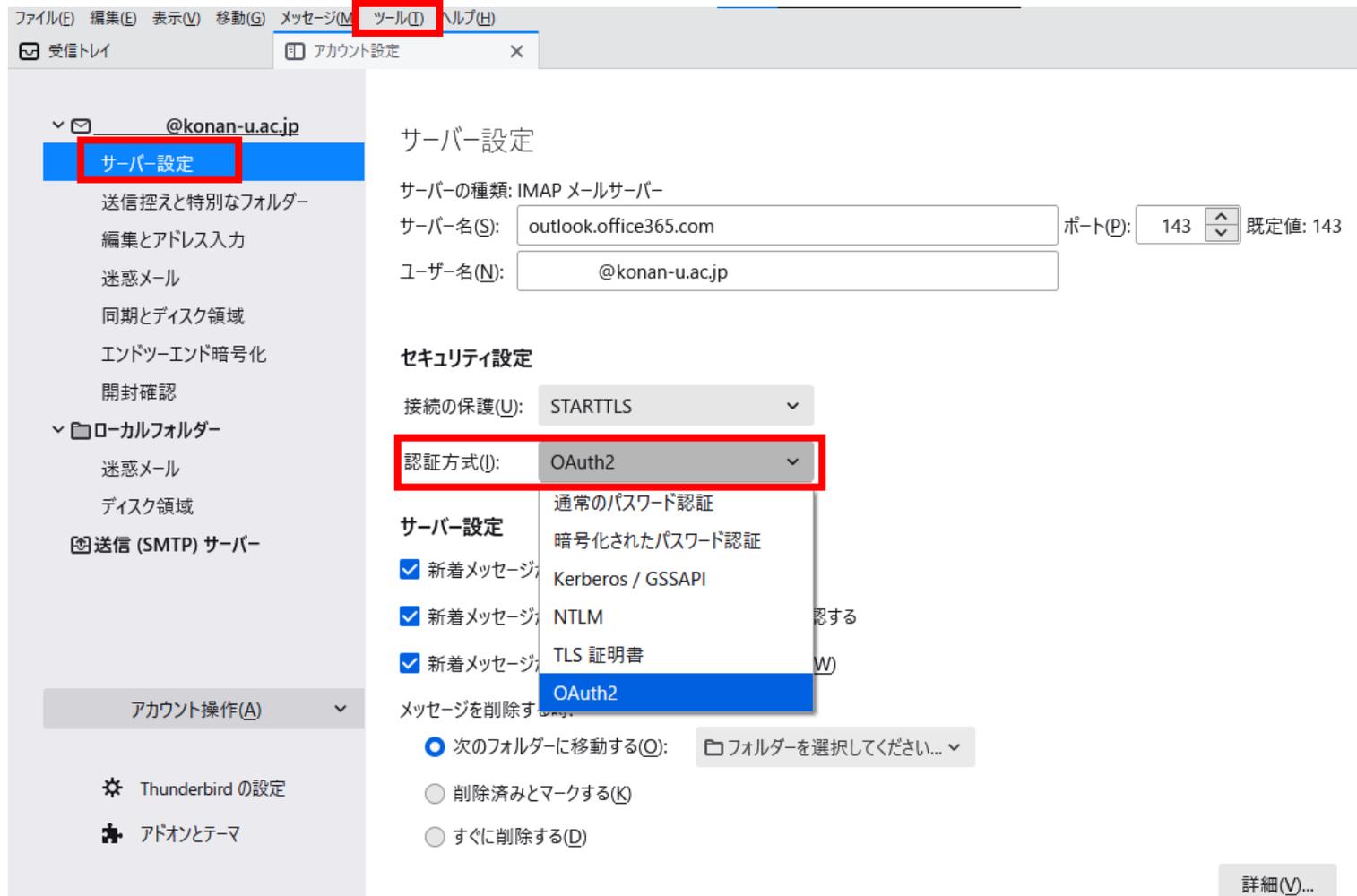


Thunderbirdの先進認証設定【1】

◆設定の確認

Thunderbirdを起動し、「ツール」>「アカウント設定」をクリックします。

「サーバ設定」をクリックし、**認証方式が「OAuth2」**であれば先進認証に対応しているため以降の手順は不要です。



Thunderbirdの先進認証設定【2】

◆ 先進認証の設定

※Thunderbird バージョン78以降をご使用ください

「ツール」 > 「アカウント設定」をクリックし、「サーバ設定」をクリックします。
認証方式で「OAuth2」を選択します。

Thunderbirdの「ツール」メニューから「アカウント設定」を開き、左側のメニューで「サーバ設定」を選択します。

サーバ設定の画面で、サーバの種類が「IMAP メールサーバ」であることを確認し、サーバ名(S)に「outlook.office365.com」、ポート(P)に「143」を設定します。

ユーザ名(N)に「@konan-u.ac.jp」を入力します。

セキュリティ設定で「接続の保護(U)」を「STARTTLS」に設定し、「認証方式(I)」を「OAuth2」に設定します。

サーバ設定で「新着メッセージ」のチェックボックスをオンにし、「メッセージを削除する」オプションを選択します。

右下の「詳細(V)...」をクリックして詳細設定を確認します。

◆ 先進認証の設定

「送信 (SMTP) サーバー」内のMicrosoft365サーバを選び、
認証方式で「OAuth2」を選択します。

The screenshot shows the Thunderbird interface with the '送信 (SMTP) サーバー' dialog box open. The dialog box is titled '送信 (SMTP) サーバー' and contains the following fields and options:

- 設定**
 - 説明(D): [Empty text box]
 - サーバー名(S): outlook.office365.com
 - ポート番号(P): 587 (既定値:587)
- セキュリティと認証**
 - 接続の保護(N): STARTTLS
 - 認証方式(O): OAuth2
 - ユーザー名(M): @konan-u.ac.jp

Buttons at the bottom of the dialog include 'OK' and 'キャンセル'. In the background, the '送信 (SMTP) サーバー' list is visible, with the '送信 (SMTP) サーバー' option highlighted in blue. The '編集(E)...' button in the list is also highlighted with a red box.